



分かります! 超絶の鉄道沿線観光案内絵図!

日本鳥瞰中国四国大図絵(昭和2年・吉田初三郎)

日本近代化の象徴である鉄道は萩に何をもたらしたのでしょうか。「鉄道の父」井上勝をはじめとした「鉄道技術者」飯田俊徳や「時刻表創刊者」手塚猛昌など、萩ゆかりの人々が鉄道を通じて日本の近代化に貢献していったことに注目し、萩と鉄道のかかわりを多角的な視点から紹介します。

日本時刻表の父

てづか 猛昌 (1853-1932)
〈須佐出身〉

日本の鉄道
草創期の技術者

いいだ とし のり (1847-1923)
飯田 俊徳 〈橋東出身〉

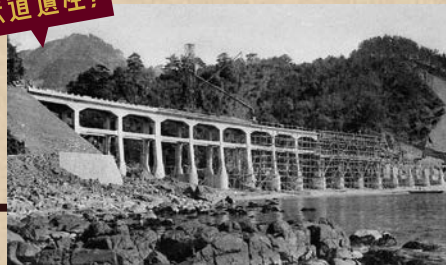
日本の鉄道を牽引した萩の人々



逢坂山トンネル(明治11年・東海道本線)
飯田俊徳指揮のもと、日本人のみで設計・施工した最初のトンネル。このトンネルにより京都府と滋賀県が結ばれた。

〔撮影 萩博物館〕

初公開! 惣郷橋梁 工事写真



惣郷鉄道橋(山陰本線最後の開通区間/須佐駅~宇田郷駅間)
(昭和7年頃)

貴重映像公開!

昭和初年 萩を走る蒸気機関車



TWILIGHT EXPRESS 瑞風 がやって来る!

お楽しみ
企画

平成29年 12/24(日)
平成30年 2/18(日)
3/11(日)

入線シーン出迎え
カッコイイ車両を外から見学
とっておきの場所で走行シーン激写などなど

夏の萩博CMでおなじみの
館長(たち ひさし)キャスターと行く
「瑞風」再発見イベント



クロスワードパズルで 缶バッジをゲット!

展示を見て・解いて・応募すると、萩ゆかりの
列車をデザインした特製缶バッジが当たる!



あの列車が走る! ジオラマ模型!

他にも、お楽しみ企画を多数開催!! 詳しくは萩博物館ホームページ!

<http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/> <https://www.facebook.com/hagihakufan/>

開館時間/午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日/なし(年中無休、年末年始も開館)

駐車場/有料
普通自動車(軽自動車を含む) 93台(1回310円)
大型自動車(マイクロバスを含む) 8台(1回1,030円)
※ただし萩市民は無料

観覧料/大人 510円、高校・大学生 310円、小・中学生 100円
[団体割引] 20名以上 20% [障がい者割引] 20%



萩・明治維新
150年祭

交通アクセス

- ◎ JR萩駅よりタクシー約10分/徒歩約30分
- ◎ JR新山口駅よりバス約70分、直通バス約60分
(萩バスセンター下車、徒歩約20分)
- ◎ 萩・石見空港より乗合タクシー約75分
(予約制 前日までに申込が必要)
- ◎ 山口宇都宮空港より乗合タクシー約75分
(予約制 前日までに申込が必要)
- ◎ 萩バスセンターよりまあるバス西回り約6分
「萩博物館前」下車すぐ
- ◎ 中国自動車道美祿東JCT
→小郡萩道路(無料) 絵堂ICより約20分

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142
<http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>
<https://www.facebook.com/hagihakufan/>
E-mail:muse@city.hagi.lg.jp

